

文部科学大臣賞

『給食タイムトラベラー』

広島県府中市立栗生小学校 六年一組 女子 橘高 日鞠

今からちょうど三年前の夏、私のクラスメイトが転校するという知らせを聞いた。そのクラスメイトは、ゆいいつ幼稚園からずっと一緒の友達。転校と聞いてさみしくなった。

一学期の終業式の日。いつもなら明日から夏休みだと思いと、楽しみだったけど、その友達と最後の日だと思いと、複雑な気持ちになった。お別れ会をして、その友達と食べる最後の給食。だから、クラス全員で円になり食べようという話になった。その時、「○○ちゃんと日鞠ちゃんは幼稚園から一緒だったんじゃない。だから円の真ん中で、二人で向かい合って食べたらいと思う。」

という声が聞こえた。

一瞬、水を打ったように教室が静まり返った。そして、

「うん。いいと思う。」

「私もそう思う！」

「僕も賛成！」

と、賛意の声が聞こえてきた。

ただ、うれしかった。そして、友達がそんな風に思ってくれた事が、ありがたかった。

――「いただきます！」

その日の給食は、ナン、ドライカレー、チーズ、サラダだった。あまり登場しない、私の好きなメニュー。その友達と向かい合って食べた給食は、いつもならおいしいはずなのに、うれしいはずなのに、友達を見ると、胸がしめつけられて、いつものような味ではなかった。

それから三年。現在二人とも六年生。時々ナン、ドライカレー、チーズ、サラダのメニューは登場している。私はそのたびに、あの日の給食を思い出す。そして、その友達の事も思い出す。

私にとって、このメニューの給食は、三年生の時にもどれるタイムトラベルメニューだ。そして、やっぱりこのメニューはおいしい。

私の六年間の給食メニューで、忘れる事のできない、一番の思い出の給食となっている。

その友達と、給食を作って下さっている方々と、クラスみんなに、ありがとう。